

令和3年度 2学期 ご挨拶

2学期が始まりました。

8月中旬の大雨により北広島町でも被害が出ました。被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに1日も早い復旧をお祈りいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症が広島県内、また、北広島町でもなかなか収束せず、先行きが見通せない状況が続いています。こういう状況が続くと不安や心配な気持ちの中で、どうなっているのか「知りたい」という思いが強くなり、根拠のないうわさを信じたり、それを広げたり、悪口を言ったりすることにつながりがちです。でも、それは許されないことです。自分が聞かれたら嫌なことを人に聞こうとしていないか、自分やその家族がうわさ話をされたらどうか、そういったことを考えて行動してほしいと思います。1学期に生徒会が行った「いじめ0の会」でも、おかしいと思う行動は注意する、先生や大人に相談する、困っている人がいたら声をかけるなどの声が出ていました。みんなで声をかけあって、一人一人が大切され、悲しい思い、辛い思いをする人を出さない大朝中学校にしていきたいと思います。

さて、夏休みの前半にはオリンピックが行われ、そして現在はパラリンピックが行われています。チャレンジし続ける選手の姿にたくさんの感動をもらいました。チームで力を合わせ努力し挑戦する姿、相手をリスペクトしたたえ合う姿、支えてくれた周りの方に感謝する姿など、本当に心が熱くなりました。中でもパラリンピックでは、本校の卒業生である白砂匠庸選手がやり投げに出場し、6位入賞を果たしました。本当にすごいことです。選手たちは「できない」ことであきらめるのではなく、「どうしたらできるのか」という考え方で工夫し挑戦し続けています。

私たちは、現在、新型コロナウイルス感染症のため、我慢すること、当たり前だったことができない生活が続いています。だからこそ、オリンピック、パラリンピックの選手たちに学び、できないとあきらめるのではなく、できることに目を向け、どうやったらできるかを工夫していきたいと思います。そして、大朝中学校の学校教育目標である「大朝（ふるさと）を愛し、すすんで学び続けるたくましい生徒の育成」の実現に向け、生徒・教職員一丸となって取り組んでまいります。保護者・地域の皆様、2学期もどうぞよろしくお祈りいたします。



北広島町立大朝中学校
校長 藤田典生